



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、4月15日(火)、17日(木)に、全国一斉の「文部科学省 全国学力・学習状況調査」(中学校においては第3学年のみ対象)が実施されました。文部科学省から調査結果が公表され、本校でも過日、3年生の一人一人に個人票を配付いたしました。

今回は本校の調査結果を分析し、本校生徒の課題や改善の方向等についてまとめましたのでご報告させていただきます。ご家庭でも今後のお子様の学習や生活に役立てていただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査の結果概要と改善の方向について

【記号の意味】

△	上回っている	平均正答率が全国平均を3%以上、上回っている
◇	やや上回っている	
◆	やや下回っている	平均正答率が全国平均とほぼ同程度(±3%以内)
▼	下回っている	平均正答率が全国平均を3%以上、下回っている

【国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

学習指導要領の内容等

「言葉の特徴や使い方に関する事項」
△全国平均と比べて上回っている。

「話すこと・聞くこと」の平均正答率
△全国平均と比べて上回っている。

「書くこと」の平均正答率
◆全国平均と比べてほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」の平均正答率
◇全国平均と比べてほぼ同程度であるが、やや上回っている。

●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。

●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる

●根拠を吟味して文章を書いたり読んだりする活動の充実を図る。

●考えが伝わる文章を見本に、自分の考えが伝わる文章を書く活動の充実を図る。

●話者の伝えたいことを読み取り理解するとともに、自分自身の立場や考えを明確にする活動の充実を図る。

【 数 学 】

本 校 の 概 要

今 回 の 調 査 に お け る 課 題

改 善 の 方 向

学習指導要領の内容等

「数と式」の平均正答率
△全国平均と比べて上回っている。
「図形」の平均正答率
◇全国平均と比べてやや上回っている。
「関数」の平均正答率
△全国平均と比べて上回っている。
「データの活用」の平均正答率
◆全国平均と比べてやや下回っている。

●相対度数の意味を理解すること

●データの分布の傾向を読み取り、考察し判断していく力をつける。

【 理 科 】

今 回 の 調 査 に お け る 課 題

改 善 の 方 向

●身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定すること
●記述して回答すること

●授業の導入において、生徒が自ら課題をつかみ、自分で課題設定していく。
●実験結果からわかるることを考え、文章で適切に考えを表現する。

2. 「生徒質問紙」による生活・学習習慣等の調査結果について

() 内の数字は全国平均との差

生活・学習習慣等の調査では、全国平均と比較して肯定的な回答が多いものとして、

- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
(+14.7%)
- 読書は好きですか。(+3.0%)

となっており、ICT機器を活用した授業が定着してきていると感じている生徒が多いことが分かりました。

また、朝読書の活動も充実しているので、読書が好きな生徒が増えていることも分かりました。

今後もICTを活用した授業づくりや朝読書の活動など、生徒1人1人が深い学びを得られる活動の充実に取り組んでまいります。

全国平均と比較して肯定的な回答が少ないものとしては

- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(-11.8%)
- 朝食を毎日食べていますか。(-9.5%)

など、基本的な生活習慣の確立に差が見られました。

中学校でも基本的な生活習慣の重要性は伝えていきます。各ご家庭のご理解とご協力もよろしくお願いします。